

戦や、公民館を活用した高齢者の体力づくり教室を開催したりしてはどうでしょうか。サークル活動を通じて大人や子ども、地域住民同士のコミュニケーションの場をつくることも大切だと考えます。

学校では、教員数を増やせばもつと一人ひとりに教育が行き届いたまちになると思います。また、給食センターを集約し、効率化した方がよいと思います。自分たちも給食をきれいに食べ、無駄をなくしたいと思います。

市からの回答

安曇野の文化を知ってもらうため、小中学生向けのガイドマップなどの配布を考えます。若者向けの公民館講座のアイデアがあれば、ぜひ公民館長へ提案してください。また、高齢者の体力維持や健康増進の機会を充実させ、コミュニケーションの場づくりを担うジュニアリーダーの育成や子ども会育成会の支援にも取り組んでいきます。教員増は、財政面から難しいところもありますが、特色ある教育のために市が県と別に雇用している教職員数は他の市町村に比べて少なくはありません。給食センターの集約については、セン

③産業グループ

リーダー
横山瑛津さん（穂高西中）
上野あずみさん（豊科北中）
小林叶音さん（豊科北中）
栗山幹太くん（豊科北中）
山本泰斗くん（穂高東中）
赤沼龍之介くん（穂高西中）

なかはやしかえで
中林楓さん（三郷中）
代理
石田桃子さん（豊科北中）
坂口愛さん（豊科北中）
※上野さん、小林さん当日欠席のため



組みます。特定外来生物については、市内全区に呼び掛け、一斉駆除を行っています。今後も継続し根絶に向け取り組んでいきます。

景観保全については、学校と協力し、環境と景観について学べるよう、小中学生向けの冊子を作成したり、除雪については、除雪マップなどを作成したりして市民の皆さんに向け、情報を発信していきます。

③産業グループ

市の産業について学び、次の項目について質問や提言をしました。

①観光振興②商店街の活性化③地下水保全④里山保全

私たちの意見・提案

観光や産業の活性化へ私たち市民一人ひとりが観光客にあいさつを心掛けることや、安曇野を宣伝すること、市の知名度向上、来訪者増につながると考えます。また、滞在型観光に自転車を活用し市内にモデルコースを設置することや、商店街活性化に空き店舗を活用し、若い年代の新規出店者への支援を行ってはどうか。

地下水の減少については、昔の

ターの給食能力などからしばらくは難しいと考えます。

⑤まちづくりグループ

市の財政やまちづくり、生活環境について学び、次の項目について質問や提言をしました。

①ごみのポイ捨て②環境③男女共同参画④議会広報

⑤まちづくりグループ

リーダー
笠井悠智くん（明科中）
畠山大成くん（豊科南中）
高山竜詠くん（穂高東中）
中沢日暖さん（穂高東中）
徳武拓磨くん（明科中）



水路に戻し、水の地下浸透を促します。水路の保全を行う団体へは支援すること将来への地下水保全につながると思います。また、里山の保全では市民が身近に感じよう里山や緑に親しむイベントを増やすことを提案します。

市からの回答

観光振興については、国内外か

④教育グループ

リーダー
高田康生くん（豊科南中）
宮澤史織さん（豊科南中）
小澤千夏さん（堀金中）
内川あずみさん（堀金中）
竹内結菜さん（明科中）
丸山遥陽さん（明科中）



ら訪れてもらえる観光地を目指して、フェイスブックなども使った多様な情報発信や自転車の活用など、市民や関係する事業者の皆さんと一緒に「おもてなし」の気持ちを大切に、観光客の受け入れ体制を充実していきます。

商店街の活性化については、歩道や街路灯などの商店街周辺整備や空き店舗活用にも助成を行っています。今後も大型店にはない個性を生かした商店街づくりや、若者の起業への支援を検討していきます。

また、地下水や里山の保全についてはそれぞれ計画を策定し、取り組んでいきます。

④教育グループ

私たちが通う学校のことや、市の歴史、文化などについて学び、次の項目について質問や提言をしました。

①給食センター②文化振興③公民館④健康長寿⑤コミュニケーション⑥学校教育

私たちの意見・提案

安曇野の文化を知るため、子ども向けに文化施設の広報をしたり、若者対象にスポーツ試合の観

私たちの意見・提案

市内からゴミのポイ捨てを無くするため、ポスターによる啓発やゴミ箱の設置、清掃活動を表彰してはどうでしょうか。私たちも、できる場所から自主的にゴミ拾いや草刈りを分担して定期的に活動します。市からは、市民が主体的に活動するよう促してもらえればと思います。

市からの回答

不法投棄防止のためパトロールを行っているほか、年2回の市内一斉清掃日で市民総参加に取り組み、市民の意識向上に努めています。特に若い皆さんの参加が、周りの人に影響を与え、より意識向上につながると考えます。

男女共同参画については、市と市民のつなぎ役である男女共同参画コミュニケーションの皆さんが中心となり、本年度初めて広報紙の作成に取り組んでいます。また、議会を知ってもらうため、子ども向けの議会ホームページの研究などを進め、分かりやすい議会広報に取り組んでいきます。

■インタビュー interview

議会を終えて（11月24日）
自分ができることをして
いきたい

生徒会活動の中心になる3年生を前によい経験ができました。また、大人になった時どんなまちになるのか、知ることもできました。市が活性化しよう自分のことをしていきたいです。



みやざわしおり
議長 宮澤史織さん
（豊科南中）

学習会を終えて（8月2日）
将来のまちづくりに
生かしたい

学習会では、ゴミ問題など市が抱える課題を学ぶことができました。議会当日は将来のまちづくりに生かしていけることを提案したいと思います。



まちづくりグループリーダー
かさいはるとし
笠井悠智くん
（明科中）